

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公表番号】特表2003-510967(P2003-510967A)

【公表日】平成15年3月18日(2003.3.18)

【出願番号】特願2001-527510(P2001-527510)

【国際特許分類】

H 04 L 12/28 (2006.01)

H 04 Q 7/36 (2006.01)

【F I】

H 04 L 12/28 3 0 0 B

H 04 B 7/26 1 0 5 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 第1の通信ネットワーク(N1)に装置(MT5)を関連付け、上記第1の通信ネットワーク内の通信は第1のチャネルで行われる方法であって、

上記装置によって上記第1の伝送チャネルを検出する段階と、

上記第1のネットワーク及び第2のネットワーク(N2)からの信号間の上記チャネル上での衝突を判定する段階と、

衝突がある場合、上記第1のネットワークにチャネル変更要求を送信する段階とを含むことを特徴とする方法。

【請求項2】 衝突が検出されない場合、上記第1のネットワークの基地局に上記装置を関連付ける段階を更に含むことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】 上記第1のネットワークが、衝突が検出されないチャネルを自動追尾するまで請求項1記載の段階を繰り返す段階を更に含むことを特徴とする請求項1又は2記載の方法。

【請求項4】 上記チャネル変更要求は、上記第1のネットワークの識別子を含むことを特徴とする請求項1乃至3のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項5】 上記チャネル変更要求は、上記装置の識別子を含むことを特徴とする請求項1乃至4のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項6】 上記要求は、上記第1のネットワークに対し提案される伝送チャネルを示すパラメータを含むことを特徴とする請求項1乃至5のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項7】 上記要求は、上記第1のネットワークに既に送信された上記要求の回数を示すパラメータを含むことを特徴とする請求項1乃至6のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項8】 上記装置は、関連付けの前に、上記第1のネットワークの上記セントラルコントローラの上記識別子を知っており、

上記第1のネットワークに送信される上記フレームは上記セントラルコントローラを識別するフィールドを含むことを特徴とする請求項1乃至7のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項9】 上記衝突の判定は、上記第1のネットワークに送信される少なくとも

幾つかのフレーム又はフレームの一部が復号不可である事実を検出することによって行われることを特徴とする請求項 8 記載の方法。